

就職支援体制（北海道科学大学短期大学部）

1. 就職・求人状況

本年度の就職環境は、自動車整備士の不足を背景に、昨年度に増して好調に推移しています。また、求人数も昨年度を上回る傾向にあります。

ただ、企業では「主体性」や「実行力」を備えた者を求めて、採用試験において基礎学力・人物などの選考が厳しく行われています。

また、採用活動が早期化する一方で、採用予定数確保のために、採用・募集期間の長期化傾向が見られます。

就職支援委員会では学生が内定を得るまでには相当の努力が必要と考え、学生への就職指導に力を注ぎ、さらに企業開拓・企業訪問を行い、学生の就職先確保に取り組んでいます。

2. 就職支援

(1) 就職支援の強化

文部科学省の学生支援推進プログラムにおいて、本学の「学生の自律性を伸ばす学生支援の充実」をテーマとした取り組みが採択されました。

この取り組みでは、第一線で働くエンジニアから直接技術指導を受ける出前授業や学生と募集企業とのマッチング、タイムリーな情報提供を可能にする進路支援システムの導入などにより、より充実した就職支援体制を構築して、学生の自律性と短期大学士力の向上を目指しています。

(2) ビジネススキル

1年次の後期に開講。外部講師による就職活動全般についての講演や、自動車に関連する代表的な各業種（自動車販売、トラック・バス、建設機械、損害保険等）から人事担当者を招いての企業講演などを行うことにより、就職先の業種を選別していくとともに、コミュニケーション力を伸ばし、3月から始まる就職活動の準備を行います。

(3) 学内合同企業説明会

平成29年3月上旬に北海道科学大学と合同で学内合同企業説明会を実施しました。道内外の自動車関連を中心とした企業を招き、学生が企業情報を収集できる場を提供しています。

(4) 担任による個別指導

就職に対する心構えから、履歴書の書き方のチェックや模擬面接など、クラス担任ならではのきめ細かい個別指導を行っています。